

各位

2018年3月9日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成30年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)、KNT 個人旅行、クラブツーリズム、KNT 北海道、KNT 東北、KNT 中部、KNT 関西、KNT 中国四国、KNT 九州、ユナイテッドツアーズ、KNT-CT グローバルトラベル、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比 96.4%と前年を下回ったが、一般団体は同 166.3%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同 137.1%と前年を上回った。企画旅行については前年比 109.4%と前年を上回り、個人旅行については同 102.1%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 111.4%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比 97.4%、一般団体は同 93.8%と前年を下回り、団体旅行合計で同 96.1%と前年を下回った。企画旅行については前年比 95.6%と前年を下回ったが、個人旅行については同 101.3%と前年を上回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 96.7%と前年を下回った。外国人旅行は、前年比 110.1%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前年比 102.4%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行については取扱人数が増加するなど好調に推移したが、研修旅行などの修学旅行外の取扱においてアジア方面が増加したが、アメリカ方面などの減少の影響により販売単価が減少し、同 96.4%と前年を下回った。一般団体は、大型の職場旅行やイベントなどの取扱人数の増加より、前年比 166.3%と前年を大幅に上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 137.1%と前年を上回った。企画旅行については、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ミクロネシアやアメリカ方面などが前年を下回ったが、アジアやヨーロッパ方面などが好調に推移し前年を上回り、取扱額で前年比 104.0%と前年を上回った。クラブツーリズムはオーストラリア、スペイン、北米方面など不調な方面があったが、全般的に概ね好調に推移した。商品別ではひとり旅やテーマ旅行が好調を維持し、取扱額で前年比 111.7%と前年を上回った。この結果、海外企画旅行で前年比 109.4%と前年を上回った。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 111.4%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、一般企業における会議や視察などの増加や海外旅行社からの旅行手配依頼の増加により、前年比 110.1%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、修学旅行の取扱人数は増加したが、スキー教室などの取扱人数が減少し、前年比 97.4%と前年を下回った。一般団体は、企業系コンベンションなどの取扱人数の減少により、前年比 93.8%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 96.1%と前年を下回った。企画旅行については、メイトは方面別取扱人数の状況で、沖縄や関西方面などが前年を上回ったが、甲信越や北海道方面などが前年を下回り、取扱額で前年比 94.6%と前年を下回った。クラブツーリズムは、バス旅行部門は全般的に低調であった。バス旅行を除く国内旅行部門は北海道の道東・道北、南東北、北陸、四国などが堅調に推移したが、北海道の道南、関西、東海、九州、沖縄方面などが不調であった。加えて1月中旬の首都圏の雪害、1月中旬以降の北陸方面の雪害によるツアー取消なども大きく影響し、取扱額で前年比 96.1%と前年を下回った。この結果、国内企画旅行で前年比 95.6%と前年を下回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 96.7%と前年を下回った。

以上